



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

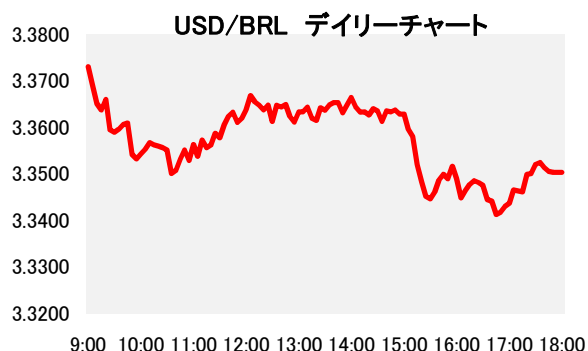
1. マーケット・レート

			12月14日	12月15日	12月16日	12月19日	12月20日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.3710	3.3650	3.3870	3.3690	3.3500	-0.0190
	BRL/JPY	Spot	34.51	35.04	34.82	34.80	35.16	+0.36
	EUR/USD	Spot	1.0550	1.0425	1.0431	1.0403	1.0388	-0.0015
	USD/JPY	Spot	116.35	117.91	117.98	117.23	117.80	+0.57
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	12.655	12.625	12.589	12.541	12.534	-0.007
	Future	1Year(p.a.)	11.859	11.772	11.733	11.681	11.685	+0.004
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.379	2.322	2.471	2.580	2.608	+0.028
	USD	1Year(p.a.)	2.487	2.457	2.542	2.618	2.647	+0.029
株式	Bovespa指数		58212	58396	58389	57111	57583	472
CDS	CDS Brazil 5y		292.74	297.28	293.31	290.24	286.53	-3.71
商品	CRB指数		191.786	190.476	191.429	191.222	190.567	-0.66

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

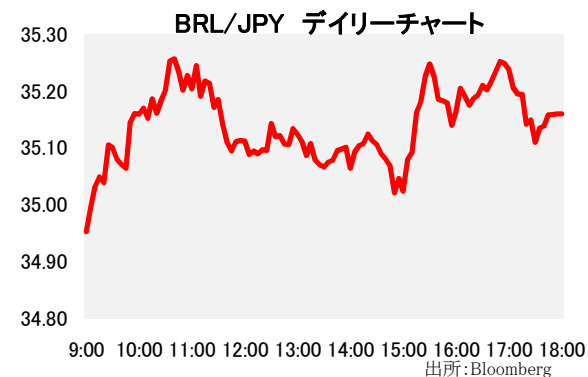
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
税收	99700m	102245m	148699m
経常収支	-\$160m	-\$878m	-\$3339m
海外直接投資	\$6500m	\$8752m	\$8400m
登録雇用創出合計	-64,000	--	-74,748



3. 要人コメント

ゴールドファイン 伯中銀総裁	今のインフレ水準では利下げ幅の拡大が可能である
-------------------	-------------------------



4. トピックス

- 本日のリアルは3.3730で寄り付いた後、リアル売りが優勢となり直ぐさま3.3770を付けた。しかしその後、大口の資金流入と思しきリアル買いが見られると、じりじりと反発し3.35前半まで買い戻された。正午を挟んで3.36後半で小幅に推移した後、引けにかけてリアルは続伸、本日の高値となる3.3400を付け、結局3.3500でクローズした。
- 日本銀行は金融政策決定会合で、9月に導入した長短金利操作付き量的・質的金融緩和の枠組み維持を決定。黒田総裁は会見で長短金利の操作目標引き上げを議論するのは時期尚早だと述べた。又、円相場については円安と言うよりもドル高であると指摘、金融政策の違いは何らかの影響を為替に与えるが、今の時点で円安が行き過ぎて問題になるという見通しは持っていないと述べた。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。